

経営情報システム

令和3年度 中小企業診断士1次試験

本試験 第1問

- e 全ての USB 3.1 Type-C のコネクタは、PC 本体の USB 3.1 Type-C の受け口に上下どちらの向きでも差し込むことができる。(○)

本試験 第4問

- イ PC に接続したマウスやプリンタなどの周辺機器をアプリケーションから利用可能にするソフトウェアをパッチという。(×)
オ ハードウェアとソフトウェアの中間的な存在としてハードウェアの基本的な制御を行うために機器に組み込まれたソフトウェアをミドルウェアという。(×)

本試験 第7問

- c エッジコンピューティングは、デバイスの近くにコンピュータを配置することによって、回線への負荷を低減させ、リアルタイム性を向上させることができる。(○)

本試験 第12問

- b チャットボットとは、自動的に対話を行うプログラムのことであり、例えば企業においては顧客からの問い合わせに自動応答するために用いられる。(○)

本試験 第18問

- オ リファクタリングの際には、開発効率を高めるために内部構造には変更を加えず、外部から見た振る舞いを変更する。(×)

本試験 第20問

- ウ フェイルソフトとは、故障や障害が発生したときに、待機系システムに処理を引き継いで、処理を続行するように設計することである。(×)

2021年合格目標 TAC教材

1次完成答練② 第2問

- は、新しい USB 規格であり、入力と出力のどちらにも使うことが可能で、上下どちらの向きでも接続できる。(:USB Type-C)

1次上級答練 第5問

- ア ミドルウェアとは、DBMS や CASE ツールなど OS と応用ソフトウェアの「中間的」な役割を持っているソフトウェアである。(○)
イ デバイスドライバとは、内部機器や周辺機器といった各種機器を制御する（動作させる）ためのソフトウェアである。(○)

1次完成答練① 第22問

- a エッジコンピューティングはクラウドコンピューティングと比べ、通信量が削減でき、セキュリティを高めやすく、デバイス端末からみた低遅延が実現できるなどのメリットがある。(○)

1次完成答練① 第22問

- b RPA は、シナリオに沿って回答するルールベース型と自ら精度を高める機械学習型があり、テキストや音声などを通じて利用者と会話する。(×)

1次完成答練① 第17問

- ② 完成したプログラムでも、内部のコードを随時改善する。冗長な構造を改めるに留め、外部から見た動作変更はしない。
(②:リファクタリング)

1次養成答練 第17問

- ① 障害が発生した場合、システムの全面停止を避け機能を低下させても運転を継続させること、またはその設計概念。
(①:フェイルソフト)